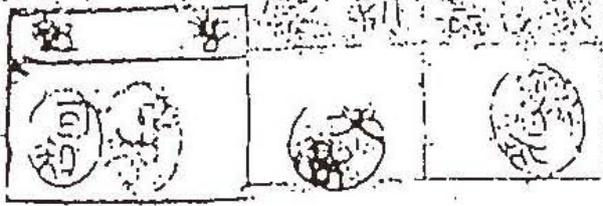


育
育



ACMIRS-MB-120

Copy 1

陸密第一九五五號
支那事變ノ經驗
ヨリ觀タル

部
外
祕

軍
紀
振
作
對
策

WD #
146816

32862

12830
1001
GINCPAC-CIRCULAR LETTERS
Signature of

砲
銃
隊
本
部

U-102

昭和十一年七月一日印刷

30035

~~30035~~

本冊ハ支那事變ノ經驗ニ基キ罪紀振作上主トシテ軍隊
ニ於テ著意スヘキ事項ヲ記述セルモノニシテ内容更ニ
推敵ノ餘地アルモ教育指導ノ參考トシテ印刷ニ附スル
コトトセリ

陸密第一九五五號

教育指原參考資料送付ノ件關係陸軍部隊へ通牒

昭和十五年九月十九日

陸軍省副官 川原 直一

「支那事變ノ經驗ヨリ視タル軍紀振作對策」教育指原ノ參考トシテ送付ス

支那事變ノ經驗
ヨリ觀タル
軍紀振作對策

目次

緒言

第一、一般的事項

第二、主トシテ事變地ニ於テ著意スヘキ事項

第三、其ノ他

結言

附錄

主要多發犯ノ若干ニ對スル一部ノ觀察

緒言

一、要旨

軍紀ハ軍隊ノ命脈ナリ而シテ其ノ弛張ハ實ニ軍ノ運命ヲ左右スルモノニシテ透徹セル訓練モ之ニヨリテ能ク其ノ成果ヲ實戰場裡ニ發揚スルヲ得ヘク軍隊ノ指揮亦之ニヨリテ完璧ヲ期シ得ヘク聖戰ニ從フ皇軍ノ聲價モ之ニヨリテ光彩ヲ發揮スルコトヲ得ヘシ然ルニ支那事變勃發以來ノ實績ニ徴スルニ各關係當事者ノ努力ニ依リ漸次緊肅ノ道程ニ在リト信スルモ赫々タル武勳ノ反面ニ幾多其ノ弛緩ヲ實證セル事犯ヲ生起シ就中統帥指揮ノ神聖ヲ冒瀆シ軍存立ノ本義ヲ害スル軍紀犯竝ニ武士道的精神及驕ノ缺如ニ因由スル諸犯多發シ軍紀ヲ侵害セルノミナラス軍ノ威信ヲ失墜シ延イテハ聖戰ニ對スル内外ノ嫌惡反感ヲ招來シ治安工作ヲ害シ國際關係ニ惡影響ヲ及ホシ聖戰目的ノ達成ヲ困難ナラシメアルモノアルハ眞ニ遺憾トスル所ナリ戰爭狀態長期ニ互ルニ從ヒ動モスレハ軍紀弛緩ノ諸因ヲ包藏シアルニ鑑ミ之ヲ振作ニ關シテハ格別ノ配慮ヲ要ス

二、支那事變間ニ於ケル犯罪、非行ノ特色

支那事變間ニ於ケル犯罪、非違ノ件數ハ國軍總兵員數ノ激增セルニ比スレハ其ノ増加率ハ必スシ

事變勃發以來ノ實情ニ徴スルニ赫々タル武勳ノ反面ニ掠奪、強姦、放火、俘虜慘殺等皇軍タルノ本質ニ反スル幾多ノ犯行ヲ生シ爲ニ聖戰ニ對スル内外ノ嫌惡反感ヲ招來シ聖戰目的ノ達成ヲ困難ナラシメアルハ遺憾トスル所ナリ宜シク皇軍ノ本質竝ニ今次聖戰ノ目的ハ抗日排日容共政權及其ノ軍隊ヲ打倒シ東洋永遠ノ平和ヲ確立シ新秩序ノ建設ニ寄與スルニ在リテ決シテ一般民衆ヲ敵トスルモノニ非サル所以ヲ一兵ニ至ルマテ徹底セシメ其ノ行動ヲシテ之ニ即應セシムルコト肝要ナリ

二、事變地ニ於ケル軍紀ノ實相特ニ犯罪非行ノ特色ヲ把握シ其ノ因テ來ル所ヲ究メ指導取締上ノ要點ヲ逸セサル如ク留意スルヲ要ス

三、戰鬪行動直後ニ於ケル軍紀風紀ニ關スル指導取締ニ就キ格別ナル留意ヲ必要トス

犯罪非行生起ノ狀況ヲ觀察スルニ戰鬪行動直後ニ多發スルヲ認ム是レ戰鬪間ニ於ケル殺伐タル心情ノ餘波ヲ受ケアリト思料セラルルヲ以テ戰鬪直後ノ指導取締ニハ特別ナル留意ヲ必要トス

四、事變地ニ於テモ萬難ヲ排シテ教育訓練ヲ勵行スルヲ要ス

今次事變ニ於ケル部隊ノ編成、素質及戰場ノ諸相ヨリ考フルニ「且教へ且戰フ」ハ最モ必要トスル

所ニシテ之ニ依リテ將兵ヲシテ常ニ軍紀ヲ嚴正ニシ志氣ヲ振起シ團結ヲ強化シ戰力ヲ發揮スルコトヲ得ヘシ特ニ戰場ノ機微ノ間ニ實施セル精神教育ハ深キ感銘ヲ與ヘ發奮興起ノ基トナルハ想像外ニシテ平時ニ於テ見ラレサル所ナリ而シテ戰地ニ於テ最モ困難トスルハ資料ノ乏シキニアリ特ニ現下軍隊下級幹部ノ精神教育能力ニ鑑ミ之カ資料ヲ作製配布スルノ著意ヲ必要トス又戰地ニ於ケル起居ハ不規則ニ互リ易キヲ以テ機會ヲ求メテ軍紀訓練ヲ實施スルハ價值大ナルモノアルヘシ

尙從來犯行者取調ノ結果ニ徵スルニ陸軍刑法、同懲罰令ニ關スル必要事項ノ教育不十分ナルタメ不知ノ間ニ犯罪非行ヲナセルモノ尠カラサルヲ以テ苟モ此等教育ノ不徹底ニ基キ勳功アル部下ヲシテ犯罪者タルノ汚名ヲ蒙ラシムルコトナキヲ要ス

五 事變地ニ於テハ特ニ環境ヲ整理シ慰安施設ニ關シ周到ナル考慮ヲ拂ヒ殺伐ナル感情及劣情ヲ緩和抑制スルコトニ留意スルヲ要ス

環境カ軍人ノ心理延イテハ軍紀ノ振作ニ影響アルハ贅言ヲ要セサル所ナリ故ニ兵營(宿舍)ニ於ケル起居ノ設備ヲ適切ニシ慰安ノ諸施設ニ留意スルヲ必要トス特ニ性的慰安所ヨリ受クル兵ノ精神的影響ハ最モ率直深刻ニシテ之カ指導監督ノ適否ハ志氣ノ振興、軍紀ノ維持、犯罪及性病ノ豫防

等ニ影響スル所大ナルヲ思ハサルヘカラス

第三、其ノ他

一、在郷軍人ニ對スル教育指導ニ就テ

今次事變勃發後二ケ年間ニ發生セル在支全軍ノ犯罪ヲ役種別ニ就テ調査スルニ

豫備役 四六三

後備役 六一四 一、三六二

補充兵役 二八五

現役 三一二

ニシテ應召者ニ極メテ多ク又應召者ノ犯セシ罪質ハ軍成立ノ根元ニ觸ルル對上官犯或ハ聖戰完遂ヲ妨害スヘキ掠奪、強盜、強姦等極メテ惡質ナルモノ多發シアリ此ニ依リテ觀ルモ軍紀振作上在郷軍人ノ教育指導ニハ格別ナル配慮ヲ要スルモノト思料セラル

二、事變地在留邦人ノ取締指導ニ就テ

部隊ノ駐留、移動ヲ問ハス最モ關係深キハ邦人居留民ナルヘシ過去ノ事例ニ依リ之ヲ觀察スルニ

特ニ作戰部隊ニ跟隨移動スル邦人ノ中ニハ不良性ヲ帶ヒ部隊ノ軍紀ヲ紊シ宣撫工作ヲ害スルモノアルヲ以テ之カ取締ヲ適切ニシ累ヲ軍隊ニ及ホササルコトニ著意スルヲ要ス

結 言

軍紀振作ノ爲ニハ以上述フルカ如ク各般ノ事項ニ互リ著意スルヲ要スルモ軍紀振作ノ要ハ軍紀ノ源泉タル將校先ツ自ラ武徳ヲ涵養シ統率指揮ヲ嚴正ニスルト共ニ教育指導ヲ適切ニシ部下ノ服從觀念ヲ透徹セシメ且信賞必罰ヲ勵行シ身ヲ以テ之カ振作ヲ圖ルニ在リ特ニ軍紀ノ根本ニ牴觸シ自由主義思想ニ胚胎セル下剋上の對上官ノ軍紀犯竝ニ皇軍ノ本質ニ背馳スル掠奪、強姦等ノ惡質犯多發セルハ國軍ノ爲誠ニ痛嘆ニ堪ヘサル所ニシテ宜シク其ノ因テ來ル所ヲ究メ拔本塞源の芟除策ヲ講シ軍紀ヲ確立シ以テ益々皇軍ノ眞價ヲ發揚スルヲ要ス

教育能力ノ不十分竝ニ下級者ノ軍紀ニ對スル觀念ノ缺如ニ基因スル所大ナリト思料セラル尙幹部ノ軍紀振作ニ關スル監督指導的確ヲ缺キ事犯生起スルモ表面ヲ糊塗シ斷乎タル處分ノ實施ヲ躊躇シ爲ニ逐次重大事犯ヲ累加セシメアルモノ少カラサルコト竝ニ飲酒カ犯行直接ノ動機トナレルモノ多キコトハ教育指導上特ニ注意ヲ要スル所ナリ

本事犯ハ軍隊存立ノ根本ヲ破壞スル虞アルモノナルヲ以テ深ク其ノ原因ヲ究メ徹底セル對策ヲ講シ之ヲ警防スルト共ニ一度事犯生起セハ斷乎タル處置ニ出テ以テ軍紀ヲ確立スルヲ要ス

二、掠奪、強姦、賭博等ニ就テ

支那事變勃發ヨリ昭和十四年末ニ至ル間ニ軍法會議ニ於テ處刑セラレシ者ハ掠奪、同強姦致死傷四二〇、強姦、同致死傷三一二、賭博四九四ニ達シアリ其ノ他支那人ニ對スル暴行、放火慘殺等ノ所爲亦散見スル所ナリ

抑々此種事犯ハ皇軍ノ本質ニ戾ル惡質犯ニシテ軍紀ヲ紊ルノミナラス事變地民衆ノ抗日意識ヲ煽リ治安工作ヲ妨ケ支那側及第三國ノ宣傳資料ニ利用セラレテ皇軍ノ聲價ヲ傷ケ延イテハ對外政策ニモ不利ナル影響ヲ及ホシ聖戰目的ノ遂行ヲ阻害スル等其ノ弊害誠ニ大ナルモノアリ宜シク軍隊幹部ニ於テ部下ノ教育指導ヲ適切ニシ特ニ今次聖戰ノ目的ヲ一兵ニ至ルマテ徹底セシメ其ノ行動

ヲ之ニ即應セシムルト共ニ慰安其ノ他ノ諸施設ヲ強化スル等各種ノ手段ヲ講シ以テ此種犯行ヲ防
遏シ皇軍ノ眞價ヲ發揚スルヲ要ス

三、經理上ノ非違行爲ニ就テ

經理上ノ非違行爲ノ防遏ニ就テハ各種ノ機會ニ於テ上司ヨリ屢々注意ヲ喚起セラレタル所ナルモ
事犯ハ依然トシテ續出シアリ

而シテ往々其ノ手段極メテ巧妙ニシテ尋常ノ手段ヲ以テハ之カ警防容易ナラサルモノアルコト、
甚シキハ巧妙ナル方法ニ依リ贈賄ヲ要求セルカ如キモノアルコト、非行者ノ大部ハ遊興ニ耽リ而
モ長期間ニ亙リ犯行ヲ繼續セルモノ多キコト竝ニ事變ニ當リ軍關係業務ニ従事スルニ至レル軍屬
等ニ在リテハ地力ノ風習ヨリ推斷シテ此種非違行爲ニ對スル是非ノ觀念透徹セサルモノアルコト
等ハ監督指導上留意ヲ要スル所ナリ

民間業者中ニハ各種ノ老獪ナル術策ヲ以テ軍關係者ニ接近シ不正手段ニ依リ利益ヲ壟斷セントス
ルモノヲ生シ易キ社會ノ實相ニ鑑ミ本事犯ノ防遏ニ就テハ特ニ深甚ナル配慮ヲ必要トス